

最近の家計消費の特徴的な動き

家計調査 家計収支編・二人以上の世帯 平成25年(2013年)10～12月期平均結果から

1 消費者マインドの改善が購入増加に寄与したとみられる品目

外食及び飲酒代

2013年10～12月期の外食の支出金額は、前年同期に比べ実質6.5%の増加となり、1～3月期以降4期連続の実質増加となった(図1)。

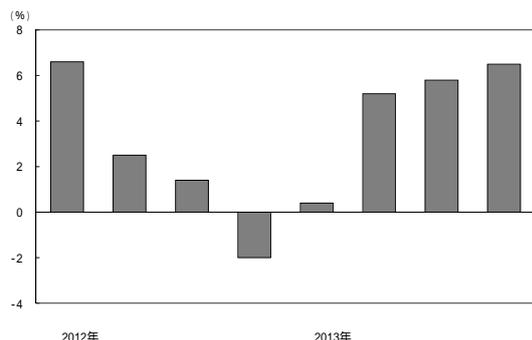
特に、外食のうちの飲酒代については、2013年10～12月期の支出金額は、前年同期に比べ実質18.7%と大きく増加し、1～3月期以降4期連続の実質増加となった(図2)。

電気冷蔵庫及びエアコンディショナ

電気冷蔵庫は、冬のボーナスの増加を背景にボーナス商戦が好調だったこと、2014年4月の消費税率引き上げ前の駆け込み需要が出始めたことなどから、2013年10～12月期の支出金額は、前年同期に比べ実質127.8%の増加となった(図3)。

同様に、エアコンディショナについても、2013年10～12月期の支出金額は、前年同期に比べ実質42.8%の増加となり、7～9月期以降2期連続の実質増加となった(図4)。

図1 外食の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



2012年の1～3月期及び4～6月期の外食の増加は、前年3月の東日本大震災の影響による減少の反動である。

注) は1～3月期、 は4～6月期、 は7～9月期、 は10～12月期を表す。以下同じ。

図2 飲酒代の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移

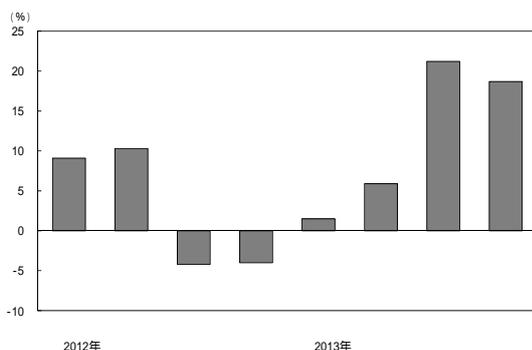


図3 電気冷蔵庫の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移

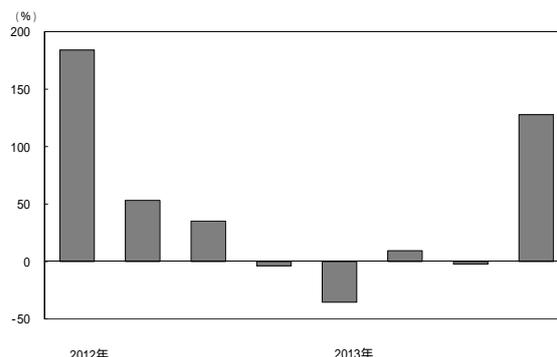
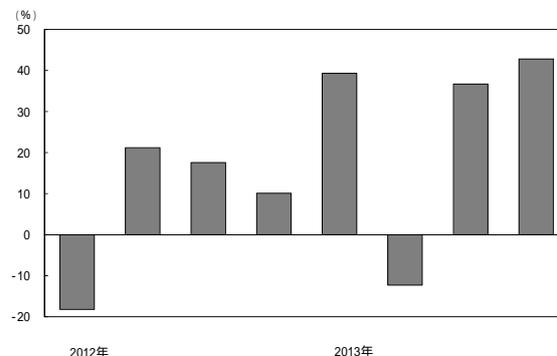


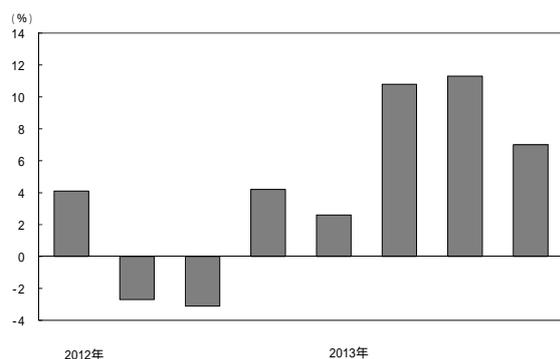
図4 エアコンディショナの四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



婦人用洋服

2013年10～12月期の婦人用洋服の支出金額は、前年同期に比べ実質7.0%の増加となり、2012年10～12月期以降5期連続の実質増加となった（図5）

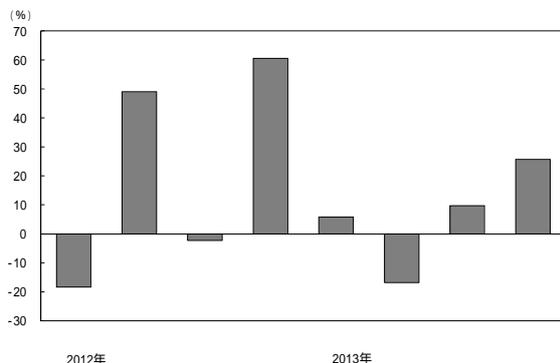
図5 婦人用洋服の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



航空運賃

航空運賃は、年未年始の休日が最大で9連休と日並びが良かったこともあり、2013年10～12月期の支出金額は、前年同期に比べ実質25.7%の増加と、7～9月期以降2期連続の実質増加となった（図6）

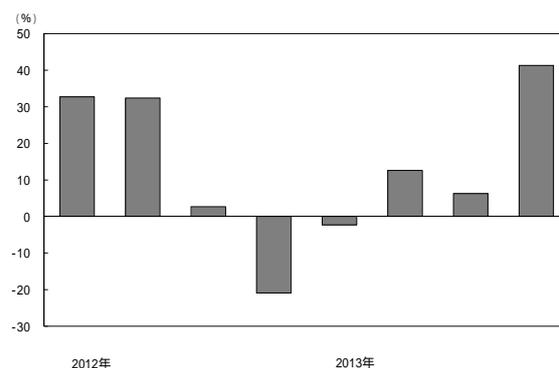
図6 航空運賃の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



ゴルフプレー料金

2013年10～12月期のゴルフプレー料金の支出金額は、前年同期に比べ実質41.3%の増加となり、4～6月期以降3期連続の実質増加となった（図7）

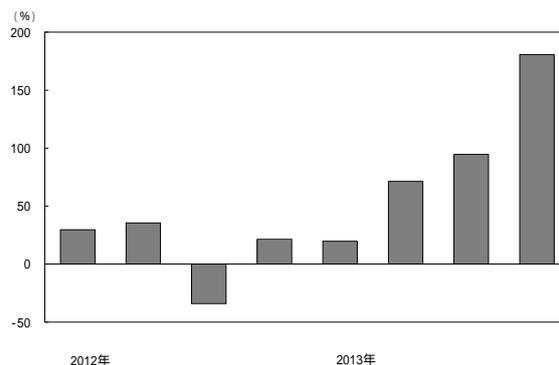
図7 ゴルフプレー料金の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



腕時計

2013年10～12月期の腕時計の支出金額は、前年同期に比べ実質180.7%の増加となり、7～9月期よりも増加幅が拡大した。また、2012年10～12月期以降5期連続の実質増加となっている（図8）

図8 腕時計の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移

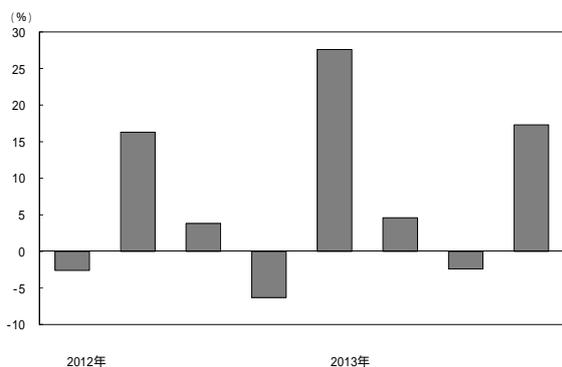


2 2014年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込みの影響がみられた品目

設備修繕・維持

2013年10～12月期の設備修繕・維持の支出金額は、前年同期に比べ実質17.3%の増加となった(図9)

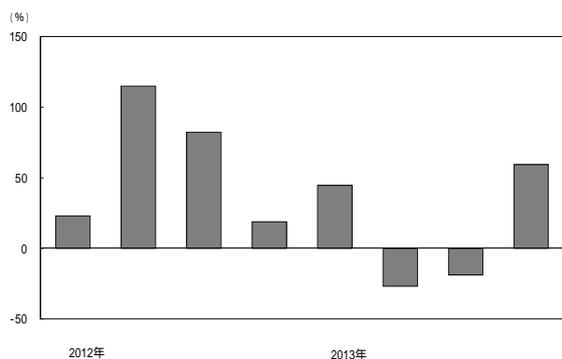
図9 設備修繕・維持の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



自動車購入

2013年10～12月期の自動車購入の支出金額は、前年同期に比べ実質59.4%の増加となり、1～3月期以来3期ぶりの実質増加となった(図10)

図10 自動車購入の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移

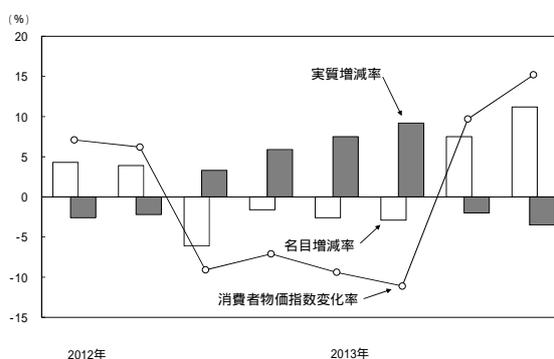


3 価格高騰の影響がみられる品目

生鮮野菜

夏の猛暑、大型台風などの天候不順の影響で生鮮野菜の価格が高騰したことに伴う買い控えもあり、2013年10～12月期の生鮮野菜の支出金額は、前年同期に比べ実質3.5%の減少となり、7～9月期以降2期連続の実質減少となった(図11)

図11 生鮮野菜の四半期別支出金額の対前年同期増減率の推移



灯油

円安に伴う原油の輸入価格が上昇している影響などにより灯油の価格が高騰したこと、気温が前年より高かったことなどから、2013年10～12月期の灯油の支出金額は、前年同期に比べ実質11.6%の減少となり、4～6月期以来2期ぶりの実質減少となった(図12)

図12 灯油の四半期別支出金額の対前年同期増減率の推移

